










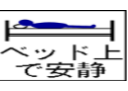




直腸低位前方切除術を受けられる患者様へ

・入院期間は変更になることがあります

経過日時	入院日 (/)	手術当日 (/)手術前	手術当日 (/)手術後	手術翌日 (/)	術後2~4日目 (/)	術後5~9日目 (/)	術後10~12日目 (/)
目標	心身ともに安定した状態で手術にのぞめる		・疼痛がコントロールされる ・出血を起こさない	・疼痛がコントロールされベッドサイド歩行ができる ・異常なく飲水開始ができる	・排ガスがあり、離床ができる	・排便コントロールができる ・食事が摂取できる	・退院後の生活での注意点が理解できる
検査	採血	手術室入室予定時間 (:)	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します	採血 レントゲン	採血 レントゲン	採血 レントゲン	
治療	<p><下剤> 15時から下剤を内服します。症状によっては下剤を内服しない場合があります</p> <p><抗生剤> □8時45分の手術の場合、抗生剤を夕方・眠前に内服します □9時以降の手術の場合、抗生剤を眠前・翌朝6時に内服します</p>	   <p>□8時45分からの手術です 点滴せずに手術室へ行きます □9時以降の手術です 10時過ぎから点滴をします</p>	点滴を続けます 酸素吸入を行います		腸閉塞予防のために内服薬が開始する場合があります		<p>退院 病理検査の結果が出れば医師よりご説明いたします。病理結果が退院時点に出ていないときは、外来でご説明させていただく場合があります</p> 
説明・観察	<p>看護師が、これまでにかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。現在内服中のお薬は、お薬の説明書と共に忘れずにご持参ください。手術に備え、和式の寝巻き1枚、腹帯1~2枚、バスタオル1枚、オムツをご用意ください。氏名確認のためのリストバンドをつけていただきます</p> 	<p>主治医より(/)()時頃に手術の説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき、手術説明書・同意書をお渡しします。必要事項を記入の上、看護師にお渡ししてください</p> <p>□(/)麻酔科医による診察があります</p> 	<p>時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予め、はずしておいてください。義歯ははずす必要はありませんが、看護師までお知らせください ウィッグ(かつら)を装着している場合は、事前に看護師に申し出てください</p> <p>手術当日の朝の内服薬については入院後に説明します</p>	<p>入院中のご家族の面会は禁止となっております。手術当日も同様です。手術後は主治医から手術の経過についての電話連絡があります</p>	合併症予防のために定期的に歩いていきましょう		退院後の生活での注意点や排便コントロールの行い方について看護師が説明をします
	看護師が手術までの流れについて説明をします		創部・肛門にドレーン、尿道に管が入ります	肛門ドレーンと尿道の管は1週間程度入ったままです。1週間経過し、尿道の管が抜ければ、尿量を測ってもらいます			
処置		へその掃除を行います		術後48時間は血糖測定を1日3回行います			
入浴				タオルで体を拭きます		ドレーンが抜けたらシャワー浴ができます	
活動	制限ありません 		歩いて手術室に行きます。病院で準備したハイソックスを着用して行きます	手術後はベッド上安静となります。寝返りはうってもかまいません 	制限ありません 		
食事	あなたの食事は低残渣食です	昼食以降は何も食べるできません	手術当日の食事は禁止です 水分は麻酔科医の指示のもと()時まで()ml飲むことができます 	絶飲食となります	医師の診察後、許可があれば飲水ができますようになります	医師の許可後食事が開始となります 食事摂取状況に合わせて普通食まで形態がアップします 